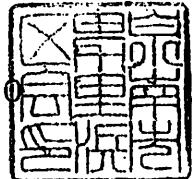


令和6年3月15日

泉南清掃事務組合

管 理 者 泉南市長 山本優真 様

泉南市男里7丁目29-20  
男里浜区長 和田公明



## 温水プールの閉鎖期日の延期等の要望書

### 1. 要望の趣旨

#### (1) 閉鎖期日の延期

貴組合が令和6年5月31日と公表されている温水プールの閉鎖期日を延期していただきたいこと。

#### (2) 事務局長の業務執行に対する指導

貴組合の事務局長に対し、管理者である貴職の立場より、業務執行に関して適切な指導を行なっていただきたいこと。

### 2. 要望の理由

#### (1)閉鎖期日の延期について

貴組合は、ホームページにおいて、「・・新清掃工場建設(予定)に伴い、令和6年5月31日をもちましてサンエス温水プールは閉鎖となります。・・」と公表されております。

この記載によれば、廃止の理由は「新清掃工場の建設に伴うものである」ことが明らかにされております。

ところが、当区が令和3年5月に貴組合から受領した「次期ごみ処理施設基礎調査報告書」の36頁の項目11において、ごみ処理施設建設工事は令和8年から始まる予定とされており、表5-1-1において、温水プールは建設前までに解体(~R8)と明記されております。

つまり、温水プールの閉鎖理由が新工場の新設に伴うというのであれば、閉鎖時期は令和8年度の直前であればよいのであって、令和6年度の初期(5月31日)に閉鎖しなければならない理由も必要性も全く存在しません。

ましてや、建設諸物価の高騰等を理由として、建設時期の先送りも含む計画見直しが検討されているという現状に照らすと、令和6年5月

31日に閉鎖すべき理由(必要性)は、ますますその根拠に欠けると言わざるを得ません。

また、温水プールは、現在の清掃工場の操業に対する付帯条件として運営されているのであるため、その操業が継続される(操業が停止されない)限り、貴組合が見返り策を提示しないままで温水プールを一方的に閉鎖することは許されないものであることは、貴組合もご承知のことろであります。

したがいまして。貴組合におかれましては、公表されている温水プールの閉鎖期日を一旦取り消され(見直され)、新工場の着工時期との関係において真に必要となる期日まで延期されることを要望します。

## (2)事務局長の業務執行に対する指導について

当区は、令和3年10月18日付書面で、温水プールの廃止に伴う見返り策を速やかに提示されるよう、強く要求しました。

しかしながら事務局長からは、当区の要求に対し何らの反論も質問すらも示されず、肝心の見返り策も何ら提示されないまま、2年以上が経過してしまいました。つまり、当区の要求は事務局長によって2年以上に渡り完全に無視・放置されたのです。

このような状況のもとで、貴組合が公表されている温水プールの閉鎖期日(令和6年5月31日)が迫ってきたこともあり、当区は「温水プールの廃止に伴う見返り策の提示要望書(再)」を、令和5年9月12日付で送付したことは、貴職もご承知のことろと存じます。

この要望書の再送付に対しても、事務局長は適切に対処することを怠って何ら反応せず、貴職のご決断・ご指導により、ようやく11月1日に懇談会が開催されるに至りましたが、その懇談会においても事務局長はほとんど自己弁護と言い訳に終止し、生産的な会の運営(遂行)には何ら貢献(寄与)することも出来ませんでした。

さらに、この懇談会を契機に、実務レベルでの各種打ち合わせを行い、当区から種々の要望・提案を事務局長に持ち込んで(提示して)おりますが、納得の行く対応はほとんど取っていただけず、多くの局面で積み残し・停滞状態が見受けられます。

事務局長および貴職の就任時期からみて、この人選に貴職が関与されていないことは、当区も十分認識しておりますが、現時点では上司・部下の関係にあられることは紛れもないところであることにご留意いただき、事務局長に対する適切なご指導をお願い致します。